

～リハビリ通信～



今年も作業療法の一環として行っている園芸でジャガイモを植えました。今年は土が硬く、作業も大変でしたが、メンバーがお互いに協力し合い、無事に作業を終えることができました。昨年と同様に美味しいジャガイモができることを今から楽しみにしています。



お知らせ

- 診療報酬改定が、4月1日から実施されました。改定前と改定後では点数が増減している項目、新設された項目があります。ご不明な点は医事課受付窓口までお問い合わせください。
- 病院スタッフのユニフォームが変更になりました！



リハビリテーション課



看護部(左・中央:看護師 右:看護補助)

うきうき編集後記

今年の冬は雪が降ったかと思うと、急に暖くなったりと忙しい天候が続いていたように感じました。春といえば桜の季節ですね。もりのたよりが皆様のお手元に届く頃には桜は満開でしょうか？皆さまはどんな春をお過ごしですか？

精神保健福祉士 長谷川 真美



〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町大字和泉 704

TEL:0493-56-3191 / FAX:0493-56-4831

昭友会ホームページ: <http://www.kokoro.or.jp>

もりのたより

『平成22年度へ向けて』

昨年、この「もりのたより」の第8号で院長就任のご挨拶をしてから、あっという間に1年が経過しました。この1年間は、新体制の下で新たなスタートがきられたということもあり、4月の時点では不安もありましたが、職員一人一人がしっかりとその役割を果たすことで、これまで通りの良質な医療・看護を提供できるよう努めてまいりました。

個人的には、病院に就職し僅か2年で院長に就任したということもあり、いきなり大ナタをふるって新たな事を始めるようなことはせず、病院の内部や地域とそこにある病院をじっくり観察し、今後、埼玉森林病院が進むべき方向を模索する1年間でもありました。

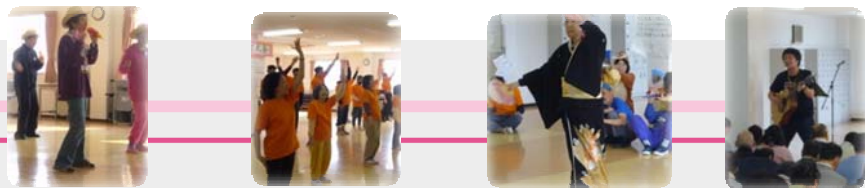
そんな中、厚生労働省を中心として行われている、今後の精神保健医療福祉のあり方等に関する検討会が取りまとめた「精神保健医療福祉の更なる改革に向けて」(平成21年9月24日)において、「入院医療中心から地域医療中心へ」という基本理念を推進し、精神疾患にかかった場合でも質の高い医療、症状・希望等に応じた適切な医療・福祉サービスを受け、地域で安心して自立した生活を継続できる社会を実現することが謳われました。

我々の病院でも、数年前から「脱施設化」「入院から地域生活へ」という理念のもと、長期入院者の退院促進に力を注いで参りました。そして、この目標を達成するために、職員の意識改革や作業療法などを通じての入院患者さんへの動機付け、クリニックでの診療体制・デイケアの強化、訪問看護の積極的導入など、具体的な活動を行ってきました。さらに、多くの方々のご理解ご協力のもと平成21年9月に作業所「ハーモニー」を平成21年10月にグループホーム「森の家」をそれぞれオープンすることができ、実践へ向けての体制づくりも進んで参りました。この「入院医療中心から地域医療中心へ」という基本理念を、幸い多くのご家族にもご賛同いただき、すでに、一定の成果が出てきております。

一方、認知症を中心とした高齢者の精神疾患に関する地域からの入院・診療のご相談や、うつ病の療養目的の入院相談も増えております。

これらのニーズに少しでも多くこたえられるよう、職員一同、努力して参りたいと思っておりますので、平成22年度も何卒よろしく願い申し上げます。

演芸大会



2月18日に演芸大会が開催されました。

作業療法ダンスチームや各病棟の患者様、職員合同による歌やダンス、ハンドベル演奏などの発表を行いました。中には特技である日本舞踊を披露してくださった患者様もいました。また、ゲストミュージシャンのギターの弾き語りもあり、会場が一体となって大変盛り上がりしました。



ピアサポーター活動

病状が安定している入院患者様の退院と退院後の生活を支援することを目的とした、「埼玉県精神障害者地域移行支援特別対策事業」が始まっています。

この事業の中で、病気の当事者としての経験を活かして患者様に直接サポートするピアサポーターの活動があります。具体的には、外出・外泊時の付き添いや地域で病気と付き合いながら生活している工夫や病気の経験等の経験談を話して頂くなどの活動です。この事業の一環でピアサポーター活動を取り入れていくことになりました。

患者様の退院後のイメージづくりのお手伝いや、地域でも生活が不安なく始められるように病院のスタッフと共に支援し、円滑な退院へ繋げられるよう取り組んでいます。

比企地域交流会



平成22年3月25日(木)に比企地域交流会に参加してきました。メニューはハムやツナを使った『洋風ちらし寿司』でした。自分たちで調理した物をみんなで食べるとおいしさも格別です。

比企地域交流会も今年で10周年を迎えます。それにあたり記念行事を計画しておりますので詳しい日程など分かりましたら改めてご案内をさせていただきます。



院内研修のご報告



統合失調症とは何か 平成22年1月27日

講師：吉田医師

疾病の成り立ちからその症状に至るまで具体的かつ理解しやすい内容となっており、病気の症状に対して適切な対処方法などの知識をより深めることができる研修会となりました。



感染対策について 平成22年2月24日

講師：木村副院長

基本的な感染対策の説明から手技など、わかりやすい構成となっており感染対策の必要性と重要性を改めて学ぶことができました。

多くの職員が参加し積極的な質問もなされ、職員の感染対策に対する意識の高さを実感できる研修会となりました。



患者様の権利について 平成22年3月17日、24日

講師：磯野院長

磯野院長よりビデオを使用しての研修で「患者様の権利について」解りやすく説明があり今まで以上に理解する事が出来ました。

今回は「インフォームドコンセント」が大きなテーマであり、患者さまご自身が病気を知るために、その説明を十分に行なうことは医療を提供するうえでとても重要な事であると再認識できる研修でした。



家族懇談会

平成22年3月27日(土)に第7回家族懇談会が開催されました。

今回は26家族27名の方に参加していただきました。

前半は薬剤師による服薬の大切さについての講義、後半は病棟別の懇談会を行いました。

懇談会ではご家族同士の悩み事や病院に対するご意見も聞かれ大変有意義な時間になりました。また当院を退院された患者様のご家族様にも出席して頂き体験や退院後の生活、現在の様子を聞くことができました。現在入院されているご家族様にとっては参考になり、私たちスタッフにとってはとても励みになる機会にもなりました。

ご多忙の中、たくさんのご家族様に参加して頂き誠にありがとうございました。

次回の家族懇談会は平成22年9月頃を予定しています。



委員長 田島希美

